

品川駅自由通路のデジタルポスターとして44台のGXD-L65H1を設置。広告ジャック風の空間演出により新たな表現手法が可能に

お客様のニーズ・課題

駅構内へ大型液晶ディスプレイを用いた広告媒体設置を展開。品川駅自由通路にこれまでで最大規模の44面媒体を設置するにあたり、環境・設置条件を満たす製品を必要としていた。



導入効果

通路の両側に並ぶ22本の柱に、65V型フルHD液晶ディスプレイGXD-L65H1を設置。どこからでも視界に入る広告ジャック風の空間演出を実現した。



株式会社ジェイアール東日本企画様

ジェイアール東日本企画様は、1988年の設立以来、JR東日本グループ様の所有する駅や関連施設などのJR資源をベースに、柔軟な発想から生まれる様々な広告展開を行っています。テレビCM、ラジオCM、新聞、雑誌、サービスプロモーションはもちろんのこと、得意の交通広告では新しい手法や新規媒体の開発も行い、トレインチャンネル、モバイルSuicaを使った媒体の開発、電子ペーパーディスプレイの実証実験などもすすめています。



株式会社ジェイアール東日本企画

交通媒体本部 媒体開発部 部長 山本孝様にお話を伺いました。

導入背景

品川駅自由通路にも大型液晶ディスプレイを用いた広告媒体を展開。

株式会社ジェイアール東日本企画では、2008年7月のJR東京駅八重洲南口コンコースへの試験設置を皮切りに、首都圏のJR駅構内を中心に大型液晶ディスプレイを用いた広告媒体「J・ADビジョン」(旧デジタルポスター。2010年度より改称)の設置を進めてきました。2010年3月末時点で12駅18か所合計170面と、駅ナカのデジタル広告媒体のネットワークとしては国内最大規模の展開となっています。

今回、ソニー製液晶ディスプレイを導入設置した品川駅自由通路は、2009年秋頃から計画が開始されました。ちょうど液晶ディスプレイの大型化と高精細化が大きく進展した時期でもあり、品川駅自由通路の環境や設置条件に一番マッチした、より大きなディスプレイを導入することになりました。



品川駅自由通路 (写真中央)

選定理由

防塵・防滴、高輝度、スリム筐体が通路の環境・設置条件を満たす。

品川駅自由通路の上部には窓があり、夏期には換気のために窓を開放しておくなど、いわば半屋外の環境です。窓の開閉状態や風向きによっては雨が入りこむこともありますし、日光の影響で非常に明るくなる場所もあります。そのため機種選定を行うにあたっては、雨やホコリに強い設計であること、視認性が高いことが条件となりました。さらに、自由通路内の22本の柱に設置することを考慮し、本体がスリムであることも条件に加えしました。

ソニーの65V型フルHD液晶ディスプレイGXD-L65H1は、当時の業務用ディスプレイの中では一番大きく、先にあげた3つの条件も満たしていました。

また、これまで液晶ディスプレイは、柱や壁に埋め込んでいましたが、通行人数の非常に多い品川駅自由通路では、床面積の減少を避けるために柱の上部に設置することが決定していました。通常は縦型で表示していますが、埋め込みではないため、映像によってはディスプレイを回転させて横型で表示させることが可能な仕様になりました。これにより広告表現の幅がさらに広がるのではないかと考えました。このような背景があり、縦横両用で使用可能なGXD-L65H1の導入が決定しました。



設置箇所上部には窓があり、GXD-L65H1の防塵・防滴仕様が有効



自由通路内22本の柱に縦横両用のGXD-L65H1を設置

導入効果

これまでで最大規模の44面は広告ジャック風のインパクトあり。

2010年3月に44台のGXD-L65H1を導入し、通路両側にある22本の柱の表裏に設置しました。3月29日に一斉点灯式を行い、多岐にわたる企業の製品広告や映画のプロモーション、テレビドラマの番宣などを配信しています。デジタルサイネージシステムと高速無線通信「WiMAX」を利用して44台のすべてを同期させ、時間帯や曜日に応じてリアルタイムに内容を切り替えます。

品川駅自由通路はゆるくカーブしているため、柱の上部に設置した液晶ディスプレイの映像はどこからでも視界に入り、広告ジャック風のインパクトがあります。これは、店舗や広告の多い駅ナカではなかなかできない演出で、44台という過去最大設置規模とあわせて各方面から注目を浴びています。通行人数の多さを考慮した設置方法が、結果としてユニークで快適な空間演出へと結びつきました。

導入から間もないため、現時点ではまだ品川駅自由通路の「J・ADビジョン」への反響の様子見段階ですが、今回の「J・ADビジョン」によって、広告表現への新たなチャンスが増えたことは間違いないと考えています。



44面のディスプレイは広告ジャック風のインパクト

今後の展望

ユニークな設置環境を活かした新たな広告手法の誕生に期待。

44台の液晶ディスプレイはすべてを同期させるだけでなく、個々に異なるコンテンツを表示することも可能ですし、いまのところ音声は出力していませんが、表現手法によっては非常に面白い広告になると思います。企業やクリエイターのみならず、新たな広告手法を生み出し、この通路をよりブラッシュアップさせてくださるだろうと期待しています。

また今後は、動画広告やコンテンツの配信だけでなく、防災情報や災害時の帰宅困難者に向けた情報など、地域、行政情報などの提供も検討していく予定です。

パブリックディスプレイの商品情報やお客さま事例をご覧ください。
sony.jp/public-display/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

記載の商品に関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

●FAX 0120-884-707

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2010年5月現在